

令和3年度 夏季特別展

ジュラシック大恐竜展 報道内覧会

1億5000万年前の地球は爬虫類全盛の時代で、その頂点に君臨したのが恐竜でした。体長が10m以上もあるものや、羽毛が生え、空を滑空するものなど、多様な姿と生態をしていたと考えられています。現在では、大型の恐竜たちは絶滅し、生きた姿を見ることはできません。

展覧会では、肉食恐竜ティラノサウルスの迫力ある全身骨格標本のほか、高さ5mのブラキオサウルスや肉食恐竜アロサウルス、羽毛が生えたディノニクスなど、恐竜の生きた姿を精巧に再現したロボットがアメリカからやってきます。また、恐竜の誕生とその歴史について、イラストなどでわかりやすく解説。子どもから大人まで、恐竜の頭や脚の特徴などを本物の大きさを体感しながら学べます。

開催に当たりましては、下記の新型コロナウイルス感染症対策を講じて開催いたします。

つきましては、下記のとおり報道関係者を対象とした内覧会を行いますので、取材してくださるようお願いいたします。

記

1 新型コロナウイルス感染症対策について

- 発熱、咳、くしゃみなどの風邪の症状のある方、体調の優れない方は、来館を御遠慮ください。
- マスク着用、手指の消毒、入場の際の検温等の感染症対策に御協力をお願いいたします。
- 展示会場では、お互いの距離を十分に保ち、会話は控えめにお願いいたします。

※ 展示室の取材及び撮影は、三密を避けるため、一報道機関毎に順番に御案内いたしますので、エントランスでお待ちいただく場合があります。

2 報道関係者等を対象とした内覧会

- (1) 日 時 令和3年7月16日(金)午前10時から(受付：午前9時55分から)
- (2) 集合場所 東北歴史博物館 1階エントランスホール
- (3) その他 当館学芸員が展示の見どころ等を御案内します。

3 特別展「ジュラシック大恐竜展」

- (1) 会 期 令和3年7月17日(土)～9月12日(日) 開館日数50日間
- (2) 会 場 東北歴史博物館 特別展示室
- (3) 主 催 東北歴史博物館 河北新報社 KHB東日本放送
- (4) 後 援 多賀城市観光協会、多賀城・七ヶ浜商工会、NHK仙台放送局、TBC東北放送、仙台放送、ミヤギテレビ、IAT岩手朝日テレビ、YTS山形テレビ、KFB福島放送、エフエム仙台、朝日新聞仙台総局、毎日新聞仙台支局、読売新聞東北総局、産経新聞社東北総局、宮城ケーブルテレビ株式会社
- (5) 企画協力 株式会社ドリームスタジオ
- (6) 展示概要
 - 第1章 恐竜研究室 ティラノサウルス、トリケラトプスの骨格標本、本物の化石の展示
 - 第2章 恐竜の森 羽毛恐竜を含むロボット7体による生態再現
 - 第3章 恐竜ハンターテント 化石発掘の歴史と道具、化石ができる過程などの解説

参考 URL : <https://www.thm.pref.miyagi.jp/exhibition/5433/>